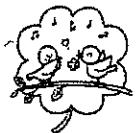


地域版

# ふれあい



発行／学校家庭地域協働事業実行委員会 編集／境木中学校校外委員会 令和3年1月13日発行

境木中学校 校長 岡本 実浩

日頃より、境木中学校の学校教育にご理解ご協力をいただき本当にありがとうございます。今年度はここまでコロナ禍において、例年と異なった対応を余儀なくされている面も多くあります。しかし、そういった中でも今までと同じように、生徒の見守りや安全に留意した健全育成、及び、学校・家庭・地域の3つの協力体制が必要不可欠になっています。そこで、校外委員の皆様には、いつも最大なるご支援をいただき感謝申し上げます。

校外委員会の活動は、多岐にわたります。今年は、コロナ禍で各自治会・町内会の活動も自粛される中、時間をかけて地域の名簿の整理に尽力くださいました。おかげで、学校だより等、学校の様子を地域の方々へ届けることができています。例年、校外委員会にお力添えをいただいている地区別懇談会や防災訓練などの地域行事や学校行事は縮小されていますが、中学生は地域と共に育っていきます。その橋渡しとして、地域との絆を深め、子どもたちのより良い未来のためにこれからもご支援ご協力をよろしくお願ひいたします。

境木中学校生徒指導専任教諭 細川 十郷

例年、凍てつくような寒さの中、懸命に根を張ろうとする校舎脇の落葉を見るたびに、子どもたちの成長と相思ねている自分に気が付きました。コロナ禍のため、例年通りに地域事業を開発せざるを得なかった今年度でしたが、保護者様や地域の皆様からいつもと変わらない、あたたかく力強いサポートをいただき、大変感謝しております。

来年度以降も『横浜一愛される学校』をめざし、校外委員の方々と一緒に元気いっぱいの境木ニュースが発信できるよう、微力ながらお手伝いさせていただきたいと思います。今後ともよろしくお願ひします。

校外委員長 井上 麻子

本年度校外委員長を務めております。どうぞよろしくお願ひいたします。

現在、子どもたちを取り巻く環境は、いじめ、非行、犯罪の低年齢化、SNSとのつきあい方など、右項の通り必ずしも健全とはいえない状況です。そんな社会環境から子どもたちを守り、のびのびと心豊かに過ごせる環境づくりを目指して活動するのが私たち校外委員会の役割ですが、保護者や地域の皆様のご協力なしではできないこともあります。

コロナ禍の折、今年度の地域活動は難しい中、我慢や辛抱を強いられながらも一生懸命に頑張っている子どもたちを温かく見守っていきたいと思います。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

## ☆気になっていること、気づいたこと

今、地域で気になっていること、気づいたことを校外委員に聞きました。

### 1. 思春期の子どもたちとのコミュニケーションの取り方

特に休校中、友達とのやりとりもLINEになり、電話で話しているのと違い全く様子が分かりませんでした。

保護者同士の情報交換や地域の大人の目とともに、適度な距離感をもって見守りたいと思っています。

### 2. 防災

最近、地震が増えてきて、大地震が近いのではないかと、周りでも不安の声が多く聞かれます。今後は防災や避難に関する意識向上を図っていきたいと思いました。

### 3. 自転車のルール

スマホを操作しながらの運転、歩道を走っての歩行者との接触、見通しの悪い曲がり角からの飛び出しなど、危ない自転車を多く見かけます。大きな事故につながる可能性が高く、気になっています。

### 4. 通学

コロナ禍において通学中も友達と一緒に行かない方がいいのか、一人ずつで行くべきなのか心配になりました。テレビ等で、話しながら歩くのも危険だと言う話を聞きました。

### 5. 信号のないところでの横断

国道1号線の信号機のないところで横断する人が多いです。いつも、子どもたちには真似して欲しくないなあと思っています。

### 6. 外出自粛時

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中、休暇の日に出歩いてもほとんど小、中学生の姿を目にしませんでした。

これは外出自粛要請に対応して、皆さんが外出を控えているのではないかと感じました。

## 令和2年度校外委員会・今年度のおもな活動

- 学家地縦会・地区別懇談会お手伝い(中止) ○ふれあい地域版発行(2月)
- 区P連校外指導分科会出席(中止) ○新旧委員引き継ぎ(2月)
- 文化祭お手伝い(中止) ○三校交流会開催(未定)
- 区P連家庭教育学級講演会(中止)

